

光と風、開放感たっぷり！機能的デザイン住宅

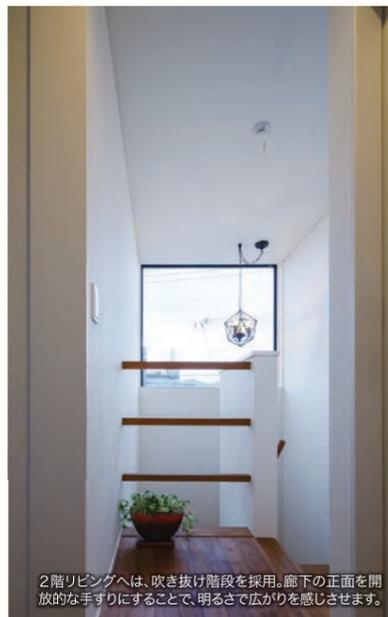
密集住宅地のコンパクトハウス



L字型ベランダによるLDKの開放感。南と東からの二面採光で明るさも抜群。空の景色も取り入れます。



駐車場もしっかりと確保。狭小地の密集住宅であるからこそ、駐車にも無駄なく、安全に出入りができるように配慮。

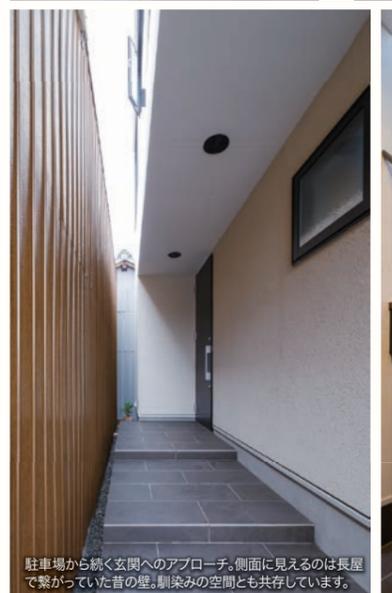


2階リビングへは、吹き抜け階段を採用。廊下の正面を開放的な手すりすることで、明るさで広がりを感じさせます。



▲LDKを2階に配置。全体で約15畳。コンパクトながら、いかに広く、明るく感じられるかにこだわりの、屋外のベランダを室内空間に取り込み、開放感を演出。

◀L字型ベランダの形状が、建物の表情にアクセントをつけます。玄関は1階の左奥。アプローチは屋根付きで、雨の日の移動もラクラクです。



駐車場から続く玄関へのアプローチ。側面に見えるのは長屋で繋がっていた昔の壁。馴染みの空間とも共有しています。



吹き抜けとスチール階段が玄関に広がりデザイン性を演出しています。



室内空間にも開放感へのこだわり。キッチンカウンターで柱を設けず、LDKを一つのフロアとして見せています。



家族の集まるリビング。外からの視線をシャットアウトするため、窓は高めに配置しつつ、空気の流れは生かしたづくり。



設計・監理 中道哲也 株式会社 スタジオパートナー

施工 有限会社近畿紀の国建産

撮影：アトリエワンデザインスタジオ 今西 浩文

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉 H26年2月～5月
〈実施設計期間〉 H26年5月～10月
〈見積もり依頼期間〉 H26年11月～H27年1月
〈起工〉 H27年1月28日
〈上棟〉 H27年3月30日
〈完成・引渡し〉 H27年7月11日

住宅データ

家族構成／
家族3人
構造／
木造在来軸組工法
建築面積／
43.53㎡ (13.17坪)
延床面積／
1F 41.40㎡ (12.52坪)
2F 43.00㎡ (13.01坪)
計 84.40㎡ (25.53坪)
敷地面積／
77.40㎡ (23.41坪)
屋根／
ガルバリウム鋼板タテヒラ葺
外壁／
防火サイディング貼、
一部弾性塗料吹付

設計・監理



モットー 建て主・施工者・設計者 三位一体

中道哲也 Tetsuyanakamichi

株式会社スタジオパートナー
1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級建築士。

施工



有限会社
近畿紀の国建産

建て主さんの声

中道さんは、他の設計されたお家が良く、予算に合わせて色々案を出してくれたりしてくれ、ゆっくりと相談に乗ってくれる親切な方でした。近畿紀の国建産さんも何でも言いやすい大変良い工務店さんでした。こだわったところは、階段にある窓。玄関が隣の家とくっついているので暗くなるかと思っていましたが、これがあることでとても明るいです。家づくりの中では、床やキッチン、フローリングや壁紙等の色を決める時すごく悩みましたが、それはとても楽しい悩みでした。また、一つ一つ細かい部分や分からないことがあれば説明してくれ、安心して進めていくことが出来ました。

誰しも、生まれ育った場所には、特別な思いがあります。それが家であればなおのこと。ところが、人も家も、そのまま、というわけにはいきません。家族構成も変われば、状況も変わります。今回の「密集住宅地のコンパクトハウス」は、昔ながらの長屋を建て替えたもの。壁を共有する独特の形態であり、建て替えには与えられた条件と周辺への配慮が必要となります。

それらをすべてクリアにし、デザインと機能性が共存する家族のマイホームをつくり上げたのが、株式会社「スタジオパートナー」の中道哲也さん。優秀な建築家と信頼できる工務店の情報を公開し、出会いをつくる「建てようネット」「和歌山」のシステムの中から、中道さんがマッチング。スタジオパートナー「和歌山事務所」・田中隆介さんがサポーターとして共に建て主さんに寄り添いながら仕上げました。

「建築面積にして約13坪。長屋を1軒だけ解体しての建て替えとなり、そもそもが住宅密集地にあたりました。コンパクトながらも、光と風が通る道をつくり、機能性もアップ。さらに、馴染みの土地だからその利点を生かしてみました」と中道さん。まずは、光を取り入れるLDKの配置。周辺の建物に影響されずにプライベートを守るため、2階リビングを採用。それに伴い、キッチンや水周り、洗面なども2階へ。生活の中心を一つにまとめました。「コンパクト住宅のポイントは、シンプル。デザインがシンプルであるほど、生活にも無駄がなく、快適空間が生み出せます。そう話す中道さんのデザインプランが、L字型ベランダを室内空間に取り込む開放感の演出。あくまで自然に、LDKの続きであるようにベランダを配置し、屋外に抜ける広がり空間を持たせています。

寛ぎ空間でもあるLDKから見ると、広がる空と近隣の屋根。馴染みの土地だからこそ、季節や時間帯によって移り変わる太陽光・景色だけでなく、建物や道路など、変わらないものの動きまで判断して、デザインバランスを整えることができますのだと言います。南からと東からの二面採光で、明るさも十分。コーナーには大きな窓を配置することで空間を大きく見せることができます。と田中さん。

キッチンのサイドには洗面、脱衣所、大型収納と生活のすべてを集結。最小で最短、コンパクトに生活動線をまとめています。ちなみに1階は、プライベートを確立した家族それぞれの自室。玄関は、吹き抜けとスチール階段で演出。吹き抜けの上部側面には、大きな窓を配し、上からの採光が1階と2階両フロアを照らします。

建てようネット
【和歌山】で建てた
新築
第97号